



天皇皇后両陛下下行幸啓

ごあいさつ

理事長 森山賢勝

令和4年2月10日に社会福祉法人亀の子へ天皇皇后両陛下がオンラインにより、御訪問を頂きました。この御訪問は、第71回全国植樹祭三瓶山北の原での開催の時、施設訪問でお出で頂くことになっていましたが、コロナ禍で延期になりオンラインでの植樹祭開催となり、この度障害者週間になみなみオンラインで御訪問頂きました。まず御訪問にあたり丸山知事より御挨拶、施設概要の説明後、かめっ子クラブ御視察、ミュージックケア2曲をご覧頂きました。

続いて亀の子工房御視察、亀の子工房の普段の活動を動画でご覧頂き、それぞれ利用者たちにお声かけを頂きました。

皆さん緊張しましたが、両陛下のお声がけにはつきりと答えることが出来ました。当法人も今年で設立25周年を迎えたところであり、この節目に天皇皇后両陛下に御訪問を頂き、大変うれしく、ありがたく思ったところであります。

丸山県知事、島根県庁の皆様、宮内庁の皆様、厚生労働省の皆様、撮影スタッフの皆様には厚くお礼、感謝申し上げます。



天皇皇后両陛下との交流

2月10日(木)に12月の障害者週間にちなみ天皇皇后両陛下下の行幸啓が、オンラインにて亀の子で行われ、両陛下と「かめっ子クラブ」「亀の子工房」の利用者が画面越しに交流をいたしました。

当日は、丸山島根県知事も亀の子に來られ、知事による両陛下への御挨拶、森山理事長の施設概要説明の後、「かめっ子クラブ」利用児童10名によるミュージックケアを2曲披露させていただきました。

始まるまでは、子どもたちも緊張していましたが、画面越しに両陛下のお



顔を拝見し両陛下の笑顔により、子どもたちはいつもの笑顔に戻り、音楽に合わせて鳴子とパラバルーンを披露することができました。両陛下からは、「ミュージックケアは楽しいですか」、「他にどのような道具を使いますか」などのご質問を受け、子どもたちがハキハキと答えてくれました。



続いて場所を変えて、坂根部長が代表児童3名の紹介をしてから両陛下よりお声がけを頂きました。他の児童は、3名の後ろに座って、代表児童が落ち着いて受け答えができるよう応援してくれていたこともあつてか、3名とも堂々とハキハキと、両陛下のご質問に楽しく答えていました。

次に、亀の子工房は森山副理事長の紹介で、日ごろの亀の子工房の活動の様子や亀の子工房を卒業した方が、どのような仕事に就かれたかをわかりやすく動画にまとめてご覧いただきました。動画の後には、亀の子工房の利用者代表へ両陛下からお声がけを頂きました。かめつ子クラブの時とは異なり、



お声がけを頂いた3名は、一人ずつ順番に席に着き森山副理事長からの紹介の後に両陛下からの、仕事の内容についての質問などに笑顔ではっきりと自信をもって答えてくれました。

最後に丸山島根県知事によるあいさつで、オンラインによる行幸啓が終了しました。当初オンラインによる行幸啓は50分の予定をされていましたが、利用者の皆さんがはきはきと答えてくれましたので、予定を10分程度オーバーしての終了でした。



行幸啓当日まで、皇后陛下のご出席がはつきりしていませんでしたが、天皇皇后両陛下による行幸啓となり、両陛下の笑顔や、やさしさに触れることができ、大変光栄なことであり、参加者一同元気を頂くことができました。

行幸啓終了後には、丸山島根県知事に施設内をご見学頂いたり、当法人の職員と交流していただきました。優しく、活動的な知事だったので職員皆が嬉しくなり、最後には当法人職員との写真撮影までお願いしてしまいました。

後日、天皇皇后両陛下より賜り物を法人職員と利用者へ頂きました。



また、会場の遊亀館3階は、テレビスタジアムのようタジオのようにテレビカメラ4台、大型モニター2台が用意され、私たちの行幸啓がスムーズに進むよう、放送スタッフ8名体制でバックアップをしてくださいました。



行幸啓で両陛下からお声がけを頂いた
利用者の皆さん

山崎翔馬さん
(亀の子工房)



佐貫武之さん
(亀の子工房)



会話の中で「おすすめの商品は？」と聞かれ、緊張しましたが「全部です」と答えることが出来ました。やさしくお声をかけていただきとても嬉しかったです。

家族に天皇皇后両陛下とお話する事を伝えると、きちんと話すことが出来るのか？と心配していました。

終わってからはこういった経験は二度ないと思うし、本当に良かったと家族に言ってもらえました。

このように穏やかな方が日本の象徴としていらっしやるのが、とてもありがたいと思えました。テレビで見るとよほどとても穏やかなお二人でした。

おからの袋詰めのお話をされ「難しくありませんか？」と聞かれ「簡単です！」とお答えしましたが、もう少しきちんと敬語を使えばよかったと思いましたが、実際にお会いしたいと思いましたが、その時はきつと体が震えてしまうと思います。

池田泰子さん
(亀の子工房)



生越陽介さん
(かめっ子クラブⅡ)



緊張していたので、何を聞かれるのか、難しいことを聞かれたらどうしよう、ドキドキしていましたが、優しくお声をかけていただき、分かりやすく質問してくださり安心しました。

作業の事に色々興味を持って聞いていただきとても嬉しかったです。母親にはじめ話をした時は、びっくりして「なぜあんななの？」と言われていましたが、「でも良かったね」と言ってもらえました。

今まではテレビに映っているお姿を拝見するだけでしたが、リモートといえど自分に対して話しかけていただき、今でも夢を見ていたような気がします。

入室前から緊張していましたが、入室した時、たくさんの方の放送スタッフ、報道陣の方がおられ、さらに緊張してドキドキしました。

天皇陛下より「かめっ子クラブではどんなことをしていますか。」との御質問に「キャッチボールや、職員さんと小学時代で話をして過ごしています。」とお答えしました。

天皇陛下はテレビの中で見たことありましたが、直接お話が出来たことがとてもうれしかったです。また、終わってからもいろいろな方から褒めてもらえたことがうれしかったです。

小原 えみりさん (かめっ子クラブ)



皇后陛下より「かめっ子クラブではお姉さんの存在ですね。他の子たちと、どんなことをしていますか。」とのご質問を受け、「おままごとです。」とはつきりと答えていました。また、「採火式の火起しは難しくなかったですか。」とのご質問にも、「簡単でした。」「すぐに火が点きました。」とお答えしたところ、両陛下は、「私たちも火起しをしましたが、なかなか火が点かなかったのですが、お上手ですね。」とお褒めのお言葉を頂きました。

上原 歩空さん (かめっ子クラブⅡ)



皇后陛下より「料理は何を作りますか。」とのご質問を受け、「かきです。」とお答えしました。皇后陛下より「果物の柿ですか。」とご確認を受け、「そうですね。」とお答えしました。それを聞いた、介助員のスタッフが上原さんに「卵焼きじゃなかったの？」と聞き返すと、皇后陛下に「卵焼きです。」とさちんと訂正を入れてくれました。彼女の感想は、「天皇陛下とお話ができ嬉しかったです。ミュージックケア、料理のことの話をしました。録画もしました。」とのことでした。

行幸啓実施までの経緯について

第71回全国植樹祭が令和2年5月31日、大田市の三瓶山で実施されるのに伴い、令和2年1月末に、島根県より植樹祭の後に両陛下が亀の子の施設を御覧になるとの連絡が入り、遊亀館3階でかめっ子クラブのミュージックケアと亀の子工房の豆腐製品の包装作業をご覧いただくという形での準備に入りました。島根県庁の職員さんと一緒に会場をどのように整備するか、島根県警による警備をどのようにするかなどの会議や視察が入りましたが、当然のことながら一部の職員しか内容が知らされておらず、20名以上の人たちが亀の子に何度も来ているが何かあったのかと心配する利用者もいました。4月に入り、残念なことにコロナウイルス蔓延のためこの年は植樹祭が中止になり、準備も中断することになりました。



第71回全国植樹祭が令和2年5月31日、大田市の三瓶山で実施されるのに伴い、令和2年1月末に、島根県より植樹祭の後に両陛下が亀の子の施設を御覧になるとの連絡が入り、遊亀館3階でかめっ子クラブのミュージックケアと亀の子工房の豆腐製品の包装作業をご覧いただくという形での準備に入りました。島根県庁の職員さんと一緒に会場をどのように整備するか、島根県警による警備をどのようにするかなどの会議や視察が入りましたが、当然のことながら一部の職員しか内容が知らされておらず、20名以上の人たちが亀の子に何度も来ているが何かあったのかと心配する利用者もいました。4月に入り、残念なことにコロナウイルス蔓延のためこの年は植樹祭が中止になり、準備も中断することになりました。

令和2年10月末には、令和3年に入り植樹祭は必ず行われるが、両陛下が日帰りになる可能性があるとということ、時間的に亀の子での行幸啓は難しいという話になり、会場を「あすてらす」に変更しての準備となりました。

しかし、令和3年4月には、両陛下の植樹祭へのご出席はオンラインということになり、亀の子の利用者の活動をご覧いただくことはできなくなり、残念で仕方ありませんでした。

令和3年12月に入り、宮内庁より「障

害者週間にちなみ」オンライン御訪問を亀の子で行いたいと島根県を通してご連絡を頂きました。今までは障害者週間の御訪問は首都圏が中心だったということでしたが、オンラインであれば、離れていても可能ということで、植樹祭の時に訪問できなかった亀の子を、両陛下も気にかけて頂いていたようで、訪問先の第一候補にくださったとのことでした。

そこから、島根県庁の担当者と同陛下にご覧いただく内容について、打合せを何度も行い、かめっ子クラブはそのままご覧いただき、亀の子工房は、活動内容を動画にまとめご覧いただくのが最善だという結論に至り、島根県に撮影スタッフを用意していただき、撮影を行いました。利用者の皆さんに「なぜ今撮影を行うのか」と言われ、県知事さんに観てもらおうための撮影だと話をし、協力をさせていただきました。また、関係者にこの行幸啓の話をしてよいのは、1週間前と言われていたので、1週間前に参加する利用者や保護者等関係者にお話をしました。この1週間でもリハーサルを何度も行い、本番当日を迎えることができました。

新型コロナウイルス蔓延のため両陛下の行幸啓を実現するまで大変な時間がかかりましたが、ご協力いただいた島根県庁の職員の皆様、宮内庁、厚生労働省の皆様にご感謝を申し上げます。

ありがとうございました。